

# 深沢けんいち と共に考えて

発行 大地を考える会  
TEL 0287-54-3944  
携帯 090-8894-6713

## 500億円を超える市の借金残高一世帯当り200万円

21年度予算も決定し一般会計規模は291億3千万円です。年々増え続ける地方債(一般・特別・企業)残高は500億円を超えます。

現在の不況から判断して当分の間は市の収入も減少するものと考えられます。

やがてそのツケは市民税、公共料金の増額による市民の負担が増えることが危惧されます。

### 大田原市の地方債(一般・特別・企業)残高の概要

	21年度予算	20年度予算
地方債残高	329億2,600万円	308億4,700万円
水道会計	61億4,700万円	61億8,800万円
下水道会計	112億7,700万円	113億7,000万円
農業集落排水	16億2,100万円	16億9,800万円
合計	519億7,100万円	501億 300万円

大田原市一所帯当たりの地方債残高(概算)大田原市世帯数2万6千戸として概算

## 大型公共工事はそれでも続く!

一向に進展していない日赤問題、思いやりのない福祉、教育の内容充実、等々市民にとって急を要する事が後回しになってハコモノばかりが優先されている現状を市民の皆様には直視して頂きたいと考えます。

## 百条委員会とは?

たびたび新聞各紙に取り上げられた百条委員会とは何ですか、市民クラブの議員が不正を行ったとか問われたり、深沢議員や小野寺議員が公務自粛を受けたとか報じられていますが、市民の私たちにはわかりません。

(一市民からの問い)

## 答え

百条調査権とは地方自治法第百条の事で議会に罰則を含む行政に対する調査を定めたものであります。今回のように議員の行為に適用するものではありません。

その点は宇都宮大学教授(行政学)が、『百条委員会設置に踏み切った議会

の見識こそ問われるべき』と指摘、1/22付の下野新聞で疑問を呈しています。近隣自治体識者も注目しています。

問題にされている事は

- 1) 市民クラブ政務調査の日程変更を議長に届け出なかった。
- 2) 屯田兵通信に一部間違った記載があった。

という点にあります。

- 1) は参加議員の都合によるため。
- 2) は指摘のあった時点で議会において謝罪が済んでいます。

## 私はそれでもペンを捨てません

- 1、私はそれでも不適切な行政に対する批判は市民の予託に対する責任として決して「屯田兵通信」の発行はやめません。
- 2、行政にとって不都合な議会質問や不適切な行政への批判に対する妨害は明らかな政治・言論弾圧です。
- 3、栃木県財政も千葉県、大坂、兵庫県と並んで財政のゆとりがないと下野新聞には報じられていました。他方、3/8の同紙には大田原市と野木町の入札落札率が異常に高いと発表されてきました。先に分析した事と併せて大田原市の財政状況判断は市民の皆様へ委ねます。
- 4、合併特例債を最大限利用する市の方針は益々借金が増えることとなります。

市民の一言

【男性】政治とは誰のものか？議員の方々はもう一度原点に戻り、よく考えていただきたいのです。

命や暮らしを守ること、そして地方自治法に則って住民のために本当の政治をしてもらいたいのです。みている人は見えていますよ。頑張ってください。

【女性】…略…。人は変化を望まないのが常のようです。今までとは違う自分に戸惑い、元の自分(状況)に戻そうとする力が働いてしまう……。新しい風を吹き込むのは、並の情熱では変わらないかもしれませんが、きっとその情熱は伝わるものだと思います。

### 【編集後記】

市民の皆様、いつでも下記まで気軽に皆さんの声を寄せて下さい。  
申し訳ありませんが、Faxは現在切断しています。

携帯 090-8894-6713 電話 0287-54-3944